

市民ネットワーク 伊藤とし子

再び
原点(市政)
へ!

税金は
命と暮らし最優先に!

県政できたえた足腰で、
もっと住みよい佐倉市に!

県議の経験を 市政 に活かします

この4年間、市民ネットワーク唯一の県議として、皆様の声を県政に届けてまいりました。党利党略とは関係なく、全くしがらみのない立場で、「市民の暮らし最優先」を貫き発言、行動してきました。

この経験を、佐倉市のまちづくりに活かし、佐倉を元気に、更にパワーアップいたします。



← 県議会での一般質問は年に1回しかできませんが、討論や意見書の趣旨説明など、毎回必ず登壇して発言・提案。

新型コロナ対策にも全力投球。コールセンターの改善や、臨時医療施設の開設が実現しました。↓



← 相談会や炊き出しなど、困窮者支援にも取り組んでいます。



佐倉にオーガニック給食を!

学校給食は子どもたちの成長に大きな影響を与えます。1年間のうち3分の2が学校給食を食べる日です。無農薬の**安全でおいしい**食材が一番です!

さくら・市民ネットワークでは、佐倉市に対し、オーガニック(有機食材)給食の導入を求める署名を集めています。ぜひ、ご協力ください。



10月22日、染井野七井戸公園で署名を集めました。

佐倉市への要望事項

1. 学校給食で使用する米・野菜等は、オーガニック農産物(無農薬・無化学肥料・非遺伝子組換え・非ゲノム編集)に切り替えること。
2. オーガニック給食で材料費が高くなる場合は、差額分を市が負担すること。



署名は2023年2月末締め切りです。

詳しくはここをクリックして下さい

環境問題

ソーラーシェアリング
市民の発電所を実現！



匝瑳市で、ソーラーシェアリング（上はソーラー、下は畑）の「市民ネットワーク千葉県おひさま発電所」をみんなの出資で、1月末にスタート。（出力 22.77kw）

上別所の廃プラスチック不法投棄



環境常任委員会で何度も取り上げた結果、撤去が徐々に進んでいます。産廃の不法投棄には厳しく声を上げていきます。



◆農業や殺虫剤を使わない建物管理を佐倉市と千葉県で実現。
◆生ごみを土に還す「バクテリアdeキエーロ」でゴミ減量実践中。

実は 佐倉市は貧乏じゃない！

何かというと「カネがない」という佐倉市。実は、千葉県54市町村のうち財政力は**14**位。2021年度決算では貯金残高は**51**億円超。県内平均より多いのです。ムダな事業とミスによる損失が多すぎる今の佐倉市を変えましょう。2023年4月の統一地方選挙が**大転換**のチャンスです。

伊藤とし子のプロフィール

1953年 茨城県日立市生まれ
1972年 千葉県立小金高等学校卒業
1974年 立正女子大学短期大学部英語英文科卒
1979年 夫の転勤でシドニーに7年間在住
1986年 吹田市の後奈良県上牧町に転居。ごみ処理場のダイオキシン問題に取り組む
1996年 佐倉市宮ノ台に転居
2003年 さくら・市民ネットワーク事務局

伊藤とし子

実現できたこと

おもな

コロナ対策 第1波～第8波 臨機応変に！

- ◆2020年・ネットカフェ難民の宿泊施設整備を県に要望し、実現。
- ◆2021年・機能不全に陥った県**コールセンター**にメスを入れ、対応を改善。
・**臨時医療施設**の開設を要望し、実現。
- ◆2022年・千葉県警の「死体取扱い件数」を独自調査。死後にコロナ感染が判明したケース等**自宅死の実態**を初めて明らかにし、対応を促す。
・全国最低レベルの**発熱外来**を増やすよう知事に要望。改善中。

交通関係 住民主体のまちづくりに！

- ◆殖産住宅内の通り抜け車両対策として、市内で初めて**ゾーン30**を実現。
- ◆酒々井小の危険な通学路に**信号機移設**を実現。
- ◆一部住宅地の厳しすぎる**駐車取締まり**の見直しを要望し、改善の方向。



通学路の調査 八街市の児童5人死傷事故を受け



情報収集



現地調査



報告集作成

危険な通学路のアンケート調査を実施。35通もの情報が寄せられました。

その35か所を現地調査。歩道がない、信号がない、横断歩道の白線が消えている等、多くの危険箇所が...

危険箇所について、県と市に改善を申し入れ。調査結果を報告集に。

実現させます！

安心できるコロナ対策

- ◆「発熱外来」に登録している市内の医療機関は、全体のわずか3割。助成金を出して登録数を増加させます。
- ◆訪問診療を充実させ自宅死を防止。

安心できる老後の暮らし

- ◆地域包括支援センターを現在の5か所から、11中学校区に増設。
- ◆認知症専門の相談窓口「認知症在宅生活サポートセンター」を新設。

安心できる介護保険

- ◆26億円にのぼる介護保険の「基金」を活用し、2024年度に予定されている介護保険料値上げを防ぎます。
- ◆介護保険料やサービス利用料が払えない市民のために、減免制度を設け、きめ細かく対応します。

安心できるまちづくり

- ◆無駄な大型道路より、生活道路・通学道路の整備を急ぎます。
- ◆ふるさと広場大改造計画（駐車場有料化等）を市民目線で見直します。

【家族】子どもが独立。夫と二人暮らし、犬
【趣味】ヨガ、胡蝶蘭栽培、料理

さくら・市民ネットワーク

〒285-0837 佐倉市王子台 3-5-13

TEL043-462-0618

FAX043-489-0797

e-mail news@sakura-siminnet.com



ホームページ